



2021年3月期(第45期)
決算説明資料

証券コード:5217



テイクオイル株式会社

1. 2021年3月期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. 半導体市場予測
4. 新型コロナウイルス感染症対策





1. 2021年3月期決算

(1) 経営成績(連結)

(2) 経営成績(単体)

(3) 売上推移(連結)

(4) 自己資本比率(連結)

(5) 設備投資額・減価償却費(連結)

(6) 製品別売上高

(7) 海外売上比率の推移

(8) 配当金の推移

1-(1) 経営成績(連結)

(単位:百万円)

	2019年3月期 (第43期)		2020年3月期 (第44期)		2021年3月期 (第45期)	
売上高	9,121	15.7%	9,082	△0.4%	12,791	40.8%
営業利益	1,648	45.7%	1,419	△13.9%	2,446	72.4%
経常利益	1,704	54.7%	1,480	△13.1%	2,368	60.0%
純利益	1,161	33.9%	992	△14.5%	1,606	61.8%

注)%表示 対前年同期比増減率



1-(2) 経営成績(単体)

(単位:百万円)

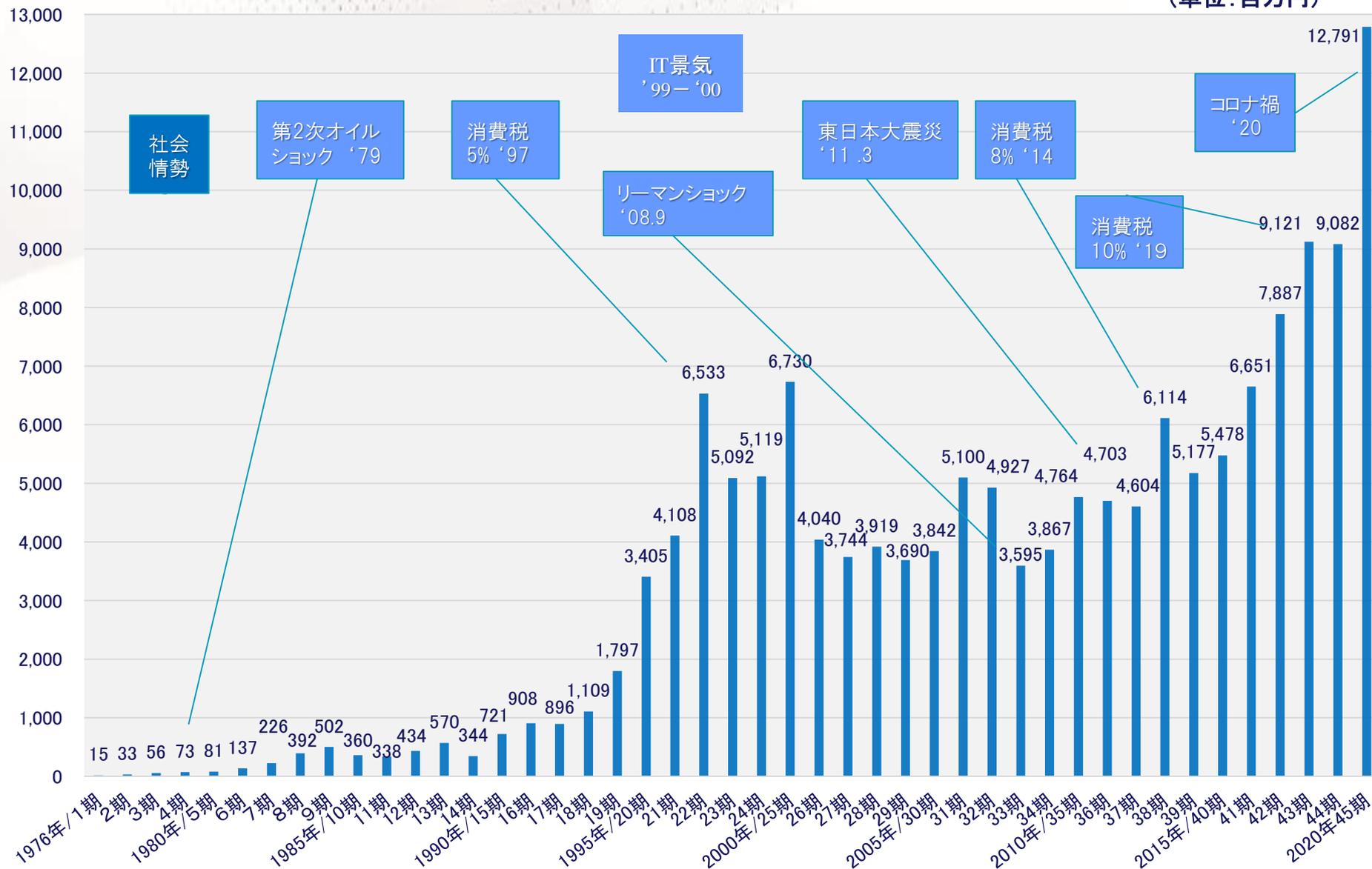
	2019年3月期 (第43期)		2020年3月期 (第44期)		2021年3月期 (第45期)	
売上高	8,413	11.9%	8,291	△1.5%	11,441	38.0%
営業利益	1,193	51.8%	1,039	△12.9%	1,613	55.3%
経常利益	1,245	56.7%	1,568	26.0%	1,714	9.3%
純利益	850	30.4%	1,196	40.6%	1,173	△1.9%

注) %表示 対前年同期比増減率



1-(3) 売上推移(連結)

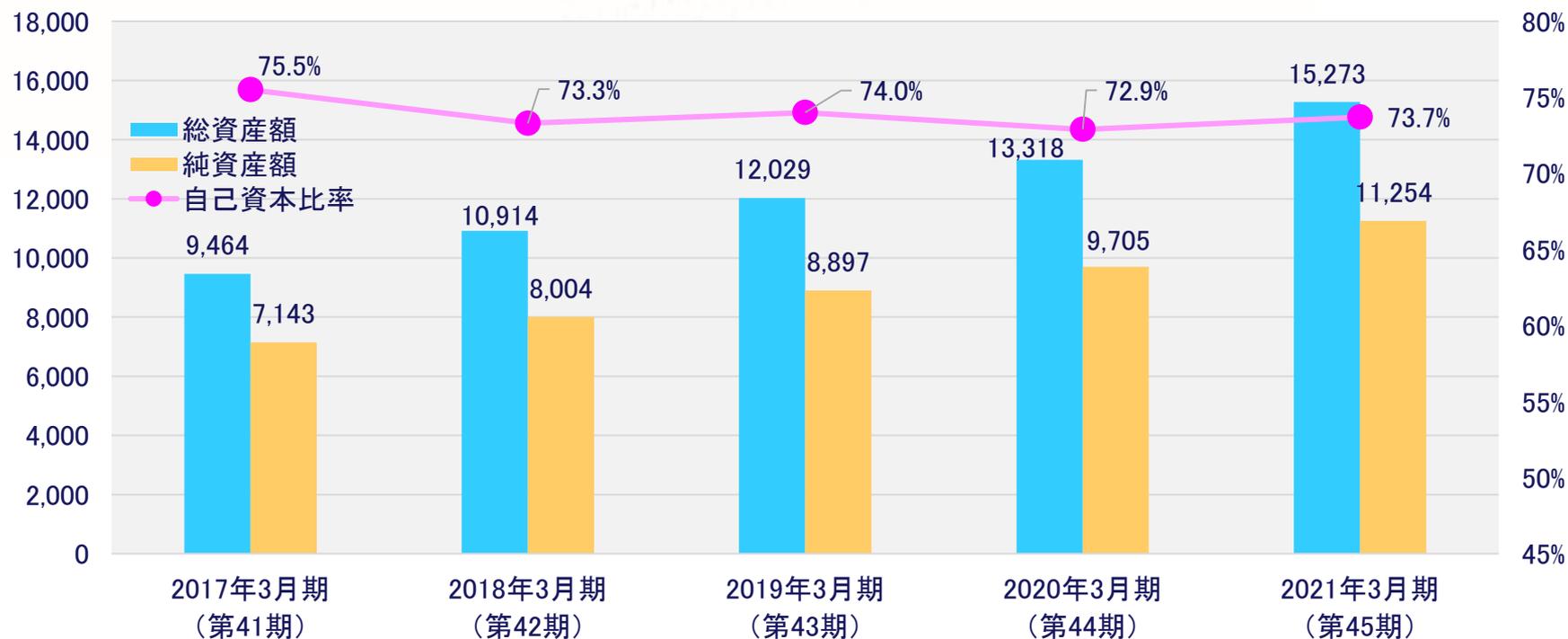
(単位:百万円)



1-(4) 自己資本比率(連結)

(単位:百万円)

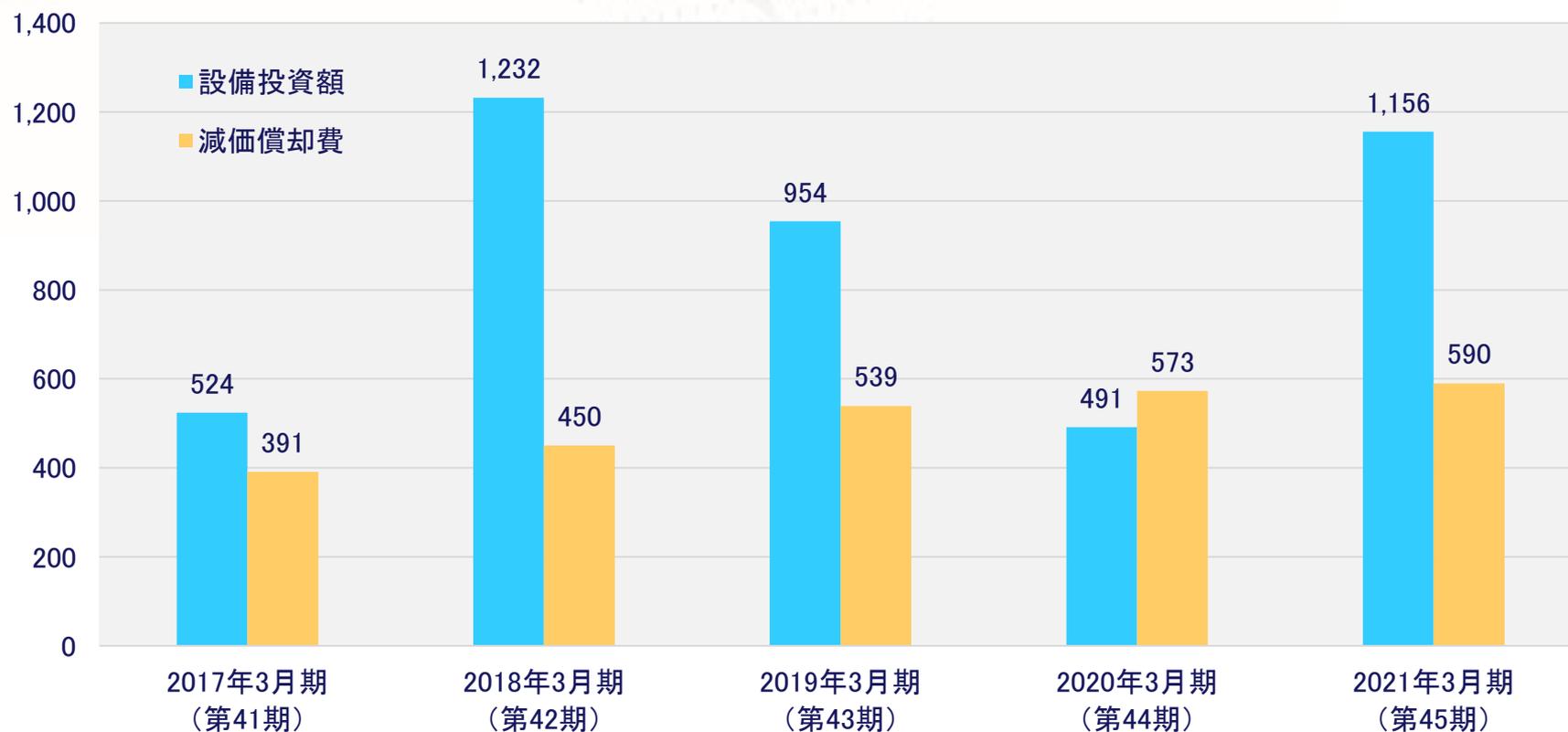
	2017年3月期 (第41期)	2018年3月期 (第42期)	2019年3月期 (第43期)	2020年3月期 (第44期)	2021年3月期 (第45期)
総資産額	9,464	10,914	12,029	13,318	15,273
純資産額	7,143	8,004	8,897	9,705	11,254
自己資本比率	75.5%	73.3%	74.0%	72.9%	73.7%



1-(5)設備投資額・減価償却費(連結)

(単位:百万円)

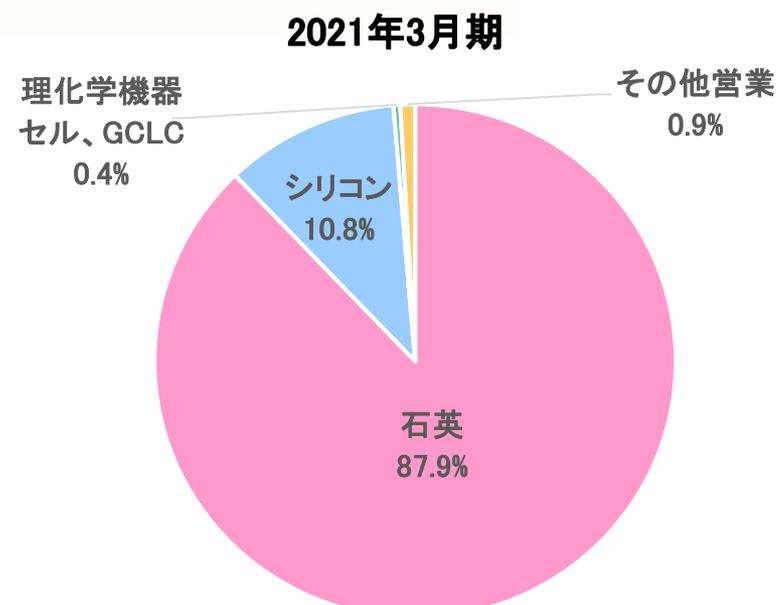
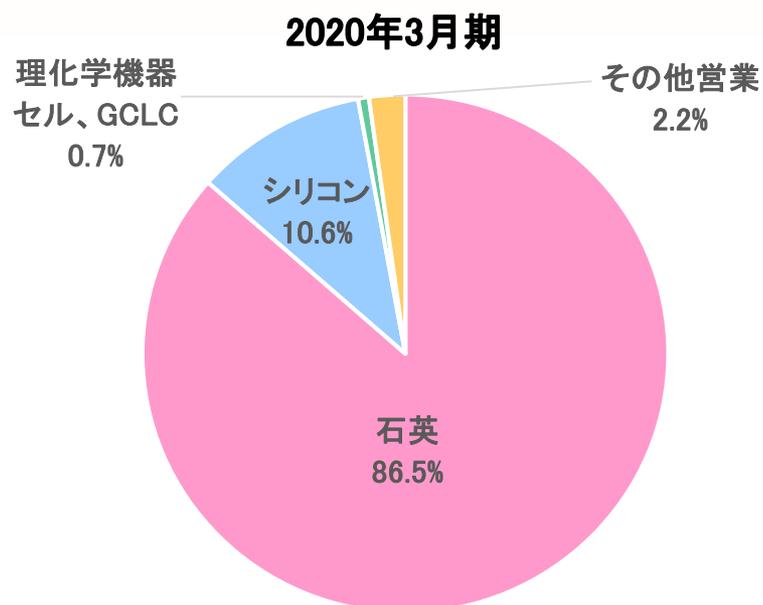
	2017年3月期 (第41期)	2018年3月期 (第42期)	2019年3月期 (第43期)	2020年3月期 (第44期)	2021年3月期 (第45期)
設備投資額	524	1,232	954	491	1,156
減価償却費	391	450	539	573	590



1-(6)製品別売上高

(単位:千円)

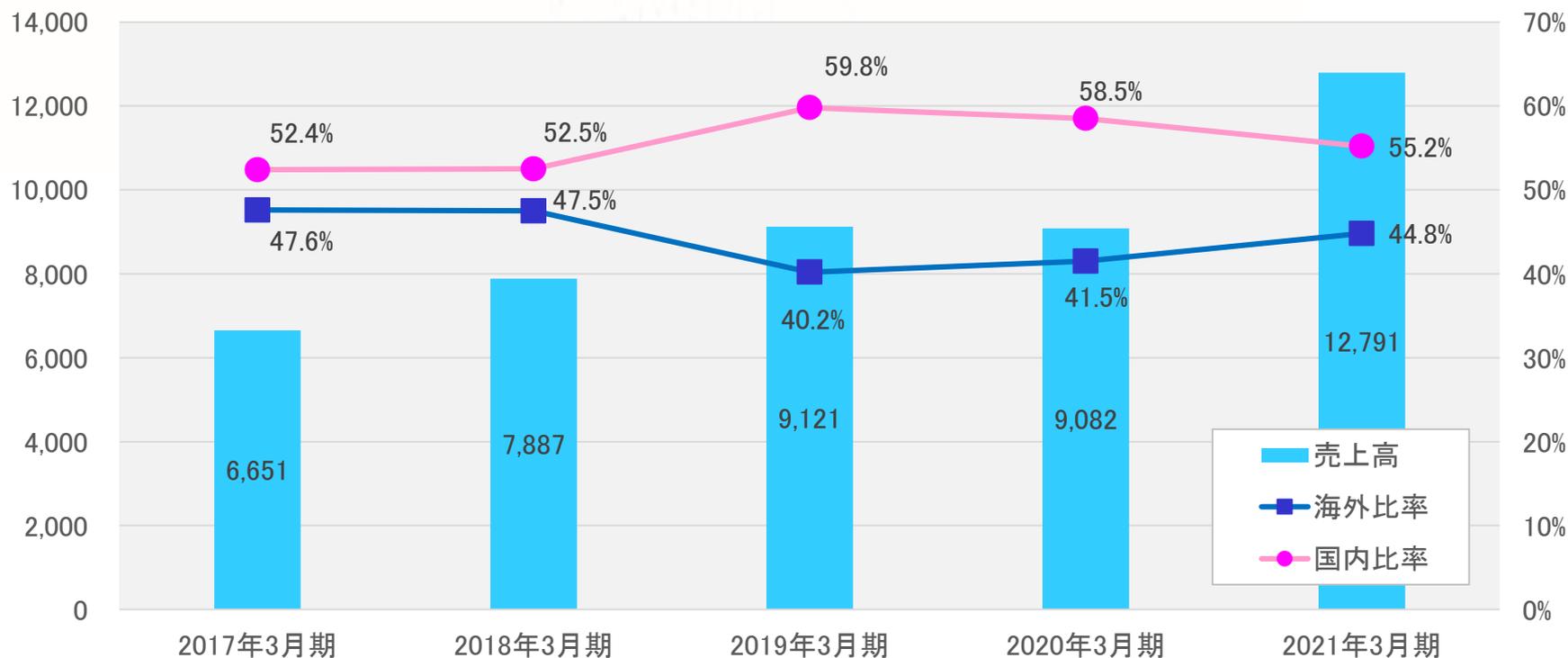
主要製品	2020年3月期			2021年3月期		
	売上高	構成比	前年比	売上高	構成比	前年比
石英	7,855,468	86.5%	99.0%	11,240,046	87.9%	143.1%
シリコン	964,908	10.6%	99.2%	1,380,701	10.8%	143.1%
理化学機器 セル、GCLC	60,718	0.7%	106.4%	53,793	0.4%	88.6%
その他営業	201,659	2.2%	120.6%	116,542	0.9%	57.8%
総計	9,082,754	100.0%	99.6%	12,791,083	100.0%	140.8%



1-(7)海外売上比率の推移

(単位:百万円)

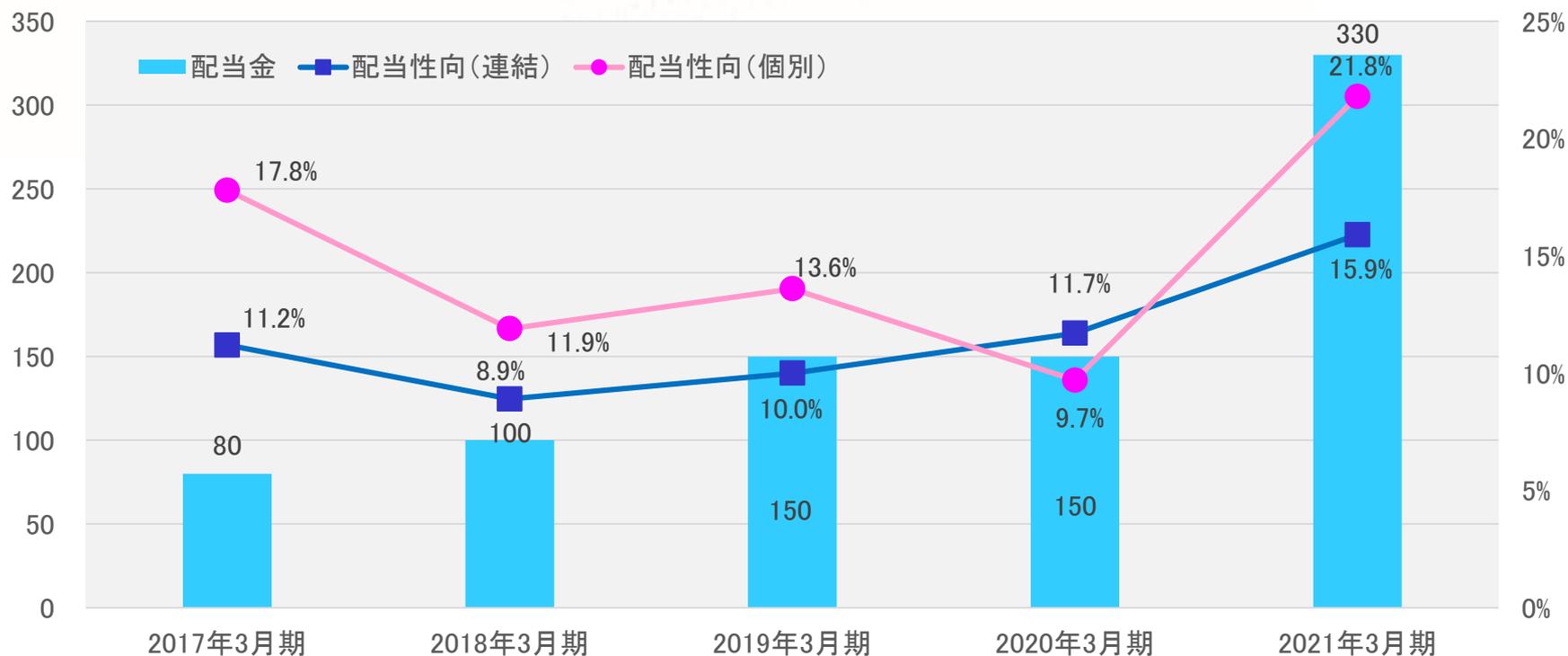
区分	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率
国内	4,142	52.5%	5,453	59.8%	5,317	58.5%	7,059	55.2%
国外	3,745	47.5%	3,668	40.2%	3,765	41.5%	5,731	44.8%
合計	7,887	100.0%	9,121	100.0%	9,082	100.0%	12,791	100.0%



1-(8) 配当金の推移

(単位:円)

	2017年3月期 (第41期)	2018年3月期 (第42期)	2019年3月期 (第43期)	2020年3月期 (第44期)	2021年3月期 (第45期)
1株当たり配当金	80.00	100.00	150.00	150.00	330.00
配当性向(連結)	11.2%	8.9%	10.0%	11.7%	15.9%
配当性向(個別)	17.8%	11.9%	13.6%	9.7%	21.8%



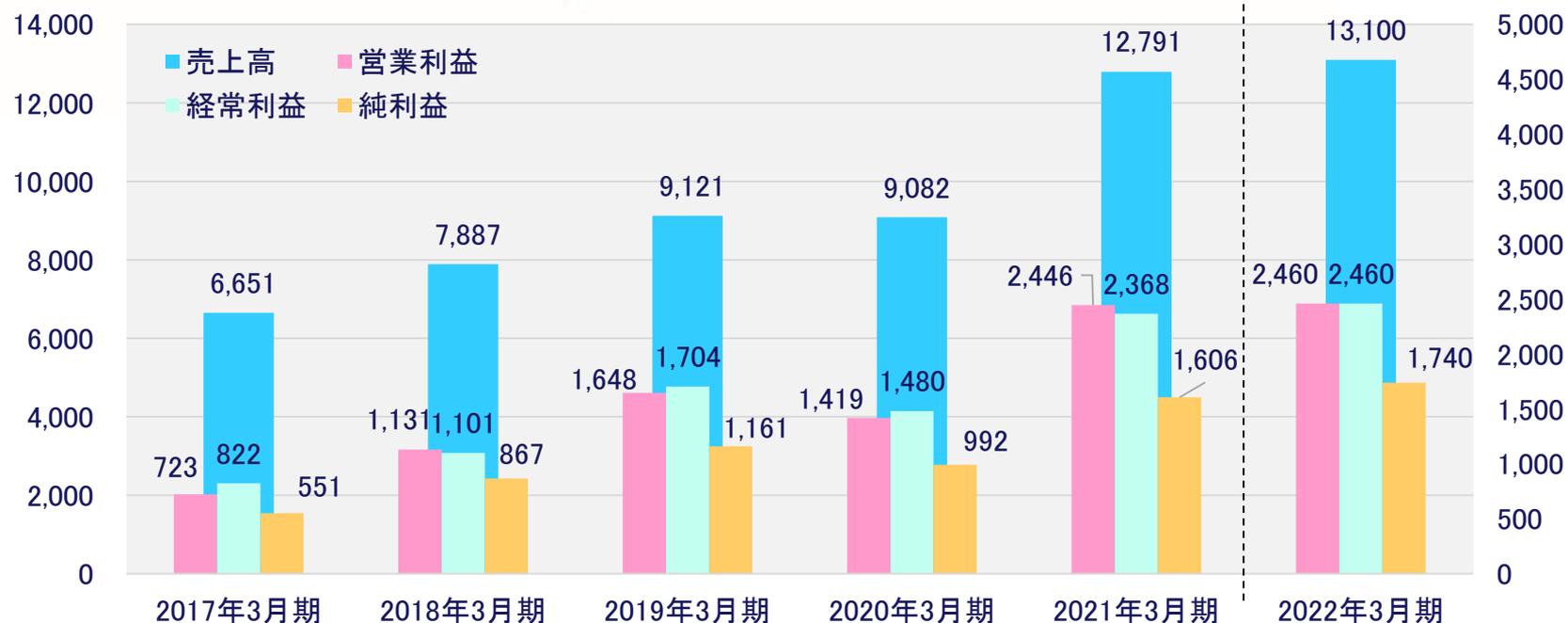
2. 2022年3月期業績予想

(単位:百万円)

	第2四半期		通期	
売上高	6,530	5.4%	13,100	2.4%
営業利益	1,260	△1.2%	2,460	0.6%
経常利益	1,260	△1.4%	2,460	3.9%
純利益	890	1.5%	1,740	8.3%

※2021年3月期決算短信の公表値

注) %表示 対前年同期比増減率



3. 半導体市場予測

(1) 半導体メーカー、半導体装置メーカー売上ランキング

(2) 世界の地域別半導体市場規模

(3) 日本製装置販売高予測

(4) 世界地域別半導体市場予測

出所: WSTS2020秋季半導体市場予測

SEAJ2021年1月日本製装置販売高予測

IC Insights

VLSI Research



3-(1) 半導体メーカー、半導体装置メーカー売上ランキング

2020年半導体メーカー売上ランキング

2020	2019	企業名	国名	売上高 (百万ドル)
1	1	インテル		73,894
2	2	サムスン エレクトロニクス		60,482
3	3	TSMC		45,420
4	4	SK Hynix		26,470
5	5	マイクロンテクノロジー		21,659
6	7	クアルコム		19,374
7	6	ブロードコム		17,066
8	10	Nvidia		15,884
9	8	TI		13,088
10	9	Infineon		11,069

資料: IC Insights

2020年半導体装置メーカー売上ランキング

2020	2019	企業名	国名	売上高 (百万ドル)
1	1	アプライド マテリアルズ		16,365
2	2	ASML		15,396
3	4	ラムリサーチ		11,929
4	3	東京エレクトロン		11,321
5	5	KLAテンコール		5,443
6	6	アドバンテスト		2,531
7	7	スクリーン		2,331
8	8	Teradyne		2,259
9	9	日立ハイテクノロジーズ		1,717
10	10	ASMI		1,516

資料: VLSI Research

3-(2)世界の地域別半導体市場規模

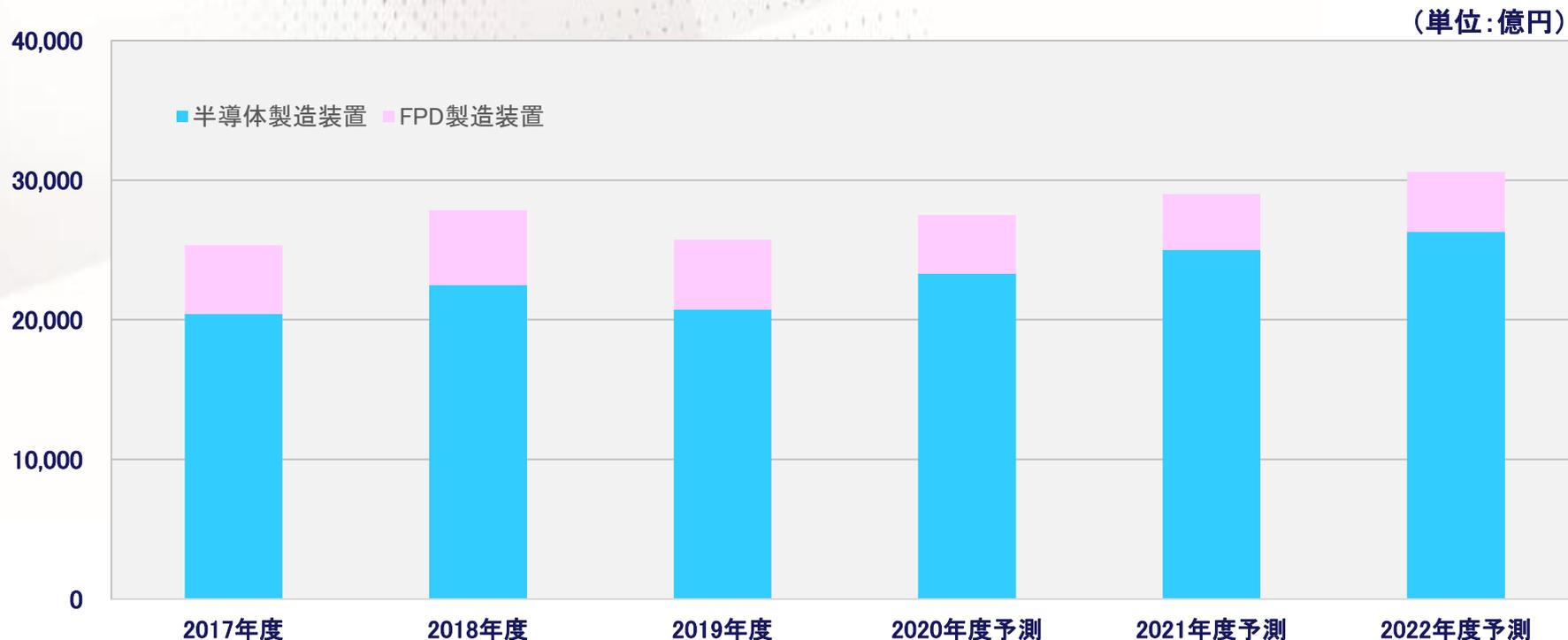
(単位:億米ドル)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 予測	2021年 予測
米州	614	693	687	655	884	1,029	786	933	1,021
欧州	348	374	342	327	383	429	398	364	385
A/P	1,744	1,942	2,010	2,083	2,488	2,828	2,578	2,675	2,908
日本	347	348	311	322	365	399	359	357	378
合計	3,055	3,358	3,351	3,389	4,122	4,687	4,123	4,331	4,694
前年比	104.8%	109.9%	99.8%	101.1%	121.6%	113.7%	87.9%	105.0%	108.3%

資料:WSTS 2020年秋季半導体市場予測

※上記WSTS予測は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮していないため、今後の予測値は変動する可能性があります。

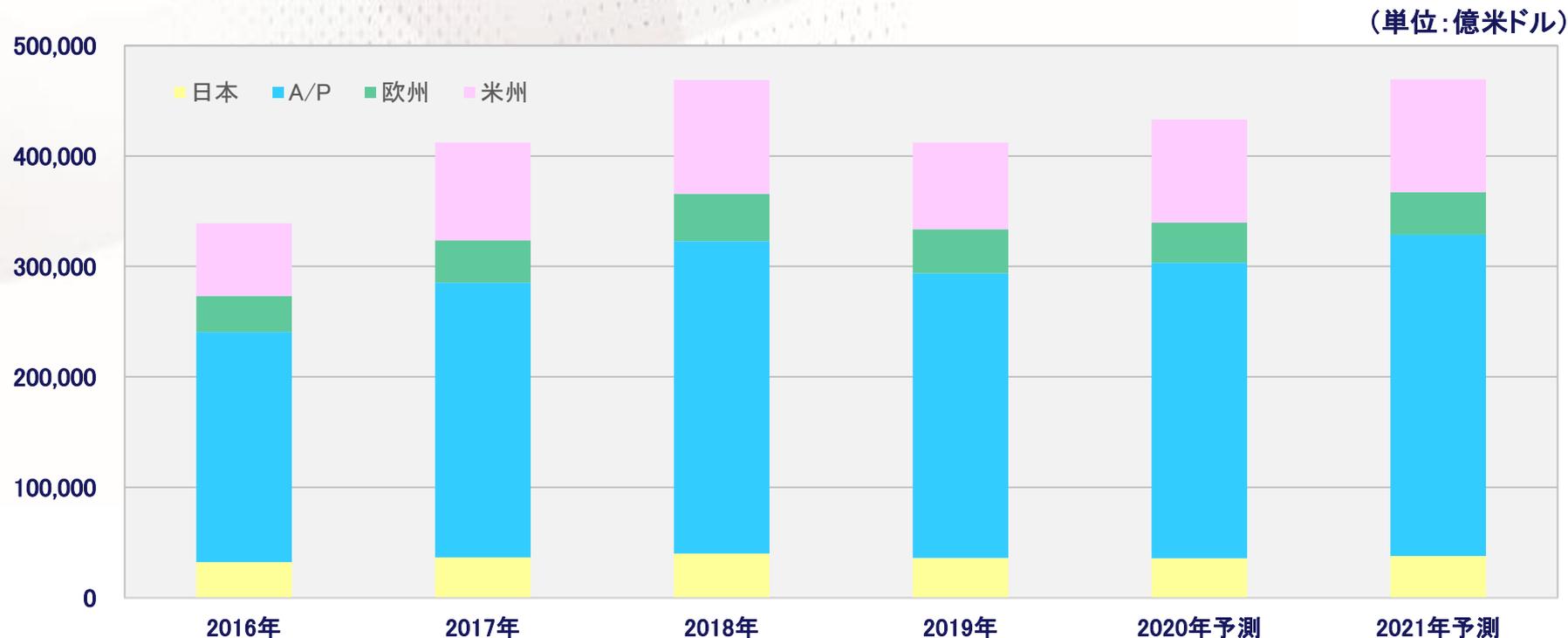
3-(3) 日本製装置販売高予測



日本製製造装置販売高について

- ◆ 2020年度は、半導体製造装置が年度前半のロジック・ファウンドリーの堅調な投資に年度後半からメモリーの復調が加わり前年度比12.4%増、FPD製造装置が海外渡航制限等の影響で同11.7%減、全体で同7.9%増の2兆7,500億円となる見通し
- ◆ 2021年度は、FPDは同4.8%減と若干減りますが、半導体は同7.3%増と引き続き成長を維持するため、全体では同5.5%増の2兆9,000億円と予測
- ◆ 2022年度は、全体で同5.5%増の3兆600億円と予測

3-(4) 世界地域別半導体市場予測



世界半導体市場について

- ◆ 2019年は米中貿易摩擦等の地政学的リスクが世界経済の失速を招き、前年比12.0%減と悪化
- ◆ 2020年は新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延によるマイナス影響がある反面、5Gスマートフォンの需要増加やテレワーク/オンライン授業の拡がり等ライフスタイルの変化が半導体需要を押し上げ、同5.1%増と予測
- ◆ 2021年は新型コロナウイルス感染症を巡る状況の改善を前提に半導体市場も成長が加速すると思われ、同8.4%増と予測

資料: WSTS

4. 新型コロナウイルス感染症対策

＜弊社の対応＞

日々変化する状況に応じて、お客様、従業員およびその家族の安全確保・感染予防、感染拡大防止を最優先とする方針のもと、事業継続に向けた対応を随時実施しております。

現在、お客様に対しましては、各種オンラインシステムを活用した商談や営業活動を行っております。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、お客様からのご注文への対応、商品出荷対応等は、通常通り実施しております。

また、社内におきましては、従業員に対し、在宅勤務および時差出勤の導入、出張の制限等を行っているほか、事業部門ごとに事業の継続に向けたコンティンジェンシープランを策定しております。

＜事業面の影響＞

当初は、海外との間で原料調達や製品出荷に一部影響が出ていたところもありましたが、現時点では、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響は軽微です。なお、今後、業績に重大な影響を及ぼす事象が発生した場合には、適時に開示いたします。

 **テクノクォーツ株式会社**

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2
ハーモニータワー

TEL: 03-5354-8171

FAX: 03-5354-8191

<http://www.techno-q.com/>

【免責事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があることをご了承ください。